

【第3回】旧庁舎解体工事 進捗状況 (R6.7/24発行)

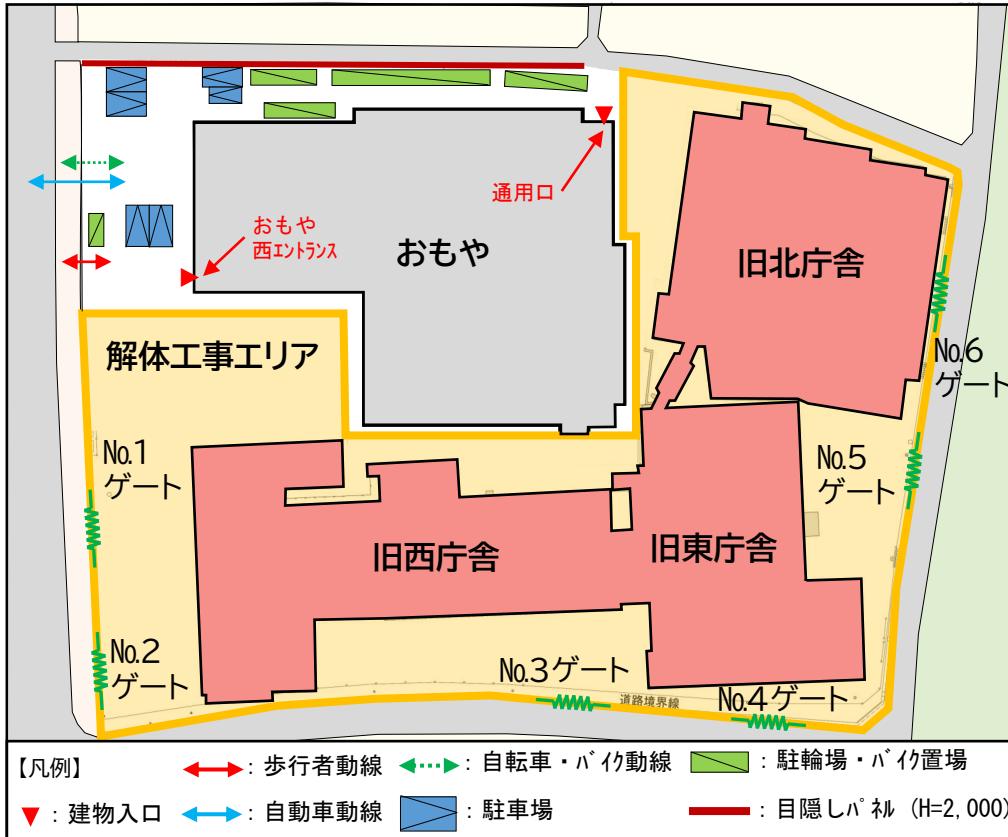
※次回更新
R6.11月下旬予定

作成者：府中市新庁舎建設推進室
大成・三浦 建設共同企業体

【解体建物概要】

敷地面積	11,633.89㎡
構造	【旧西庁舎】 鉄筋コンクリート造 【旧東・北庁舎】 鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	【旧西庁舎】 地上3階 地下1階 【旧東庁舎】 地上8階 地下1階 【旧北庁舎】 地上5階 地下2階
最高高さ	【旧西庁舎】:20.24m 【旧東庁舎】:40.62m 【旧北庁舎】:25.80m
延べ面積	22,186.49㎡

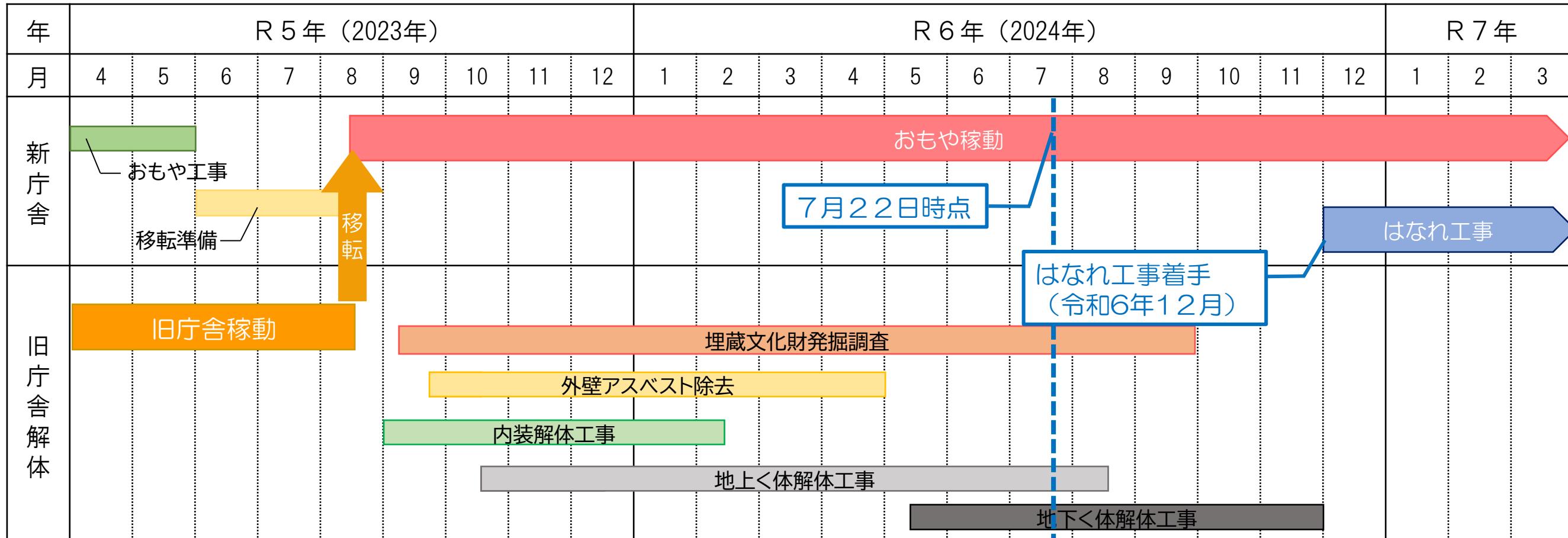
【配置計画 (おもや稼動時)】



【航空写真 (R6.7月12日時点)】

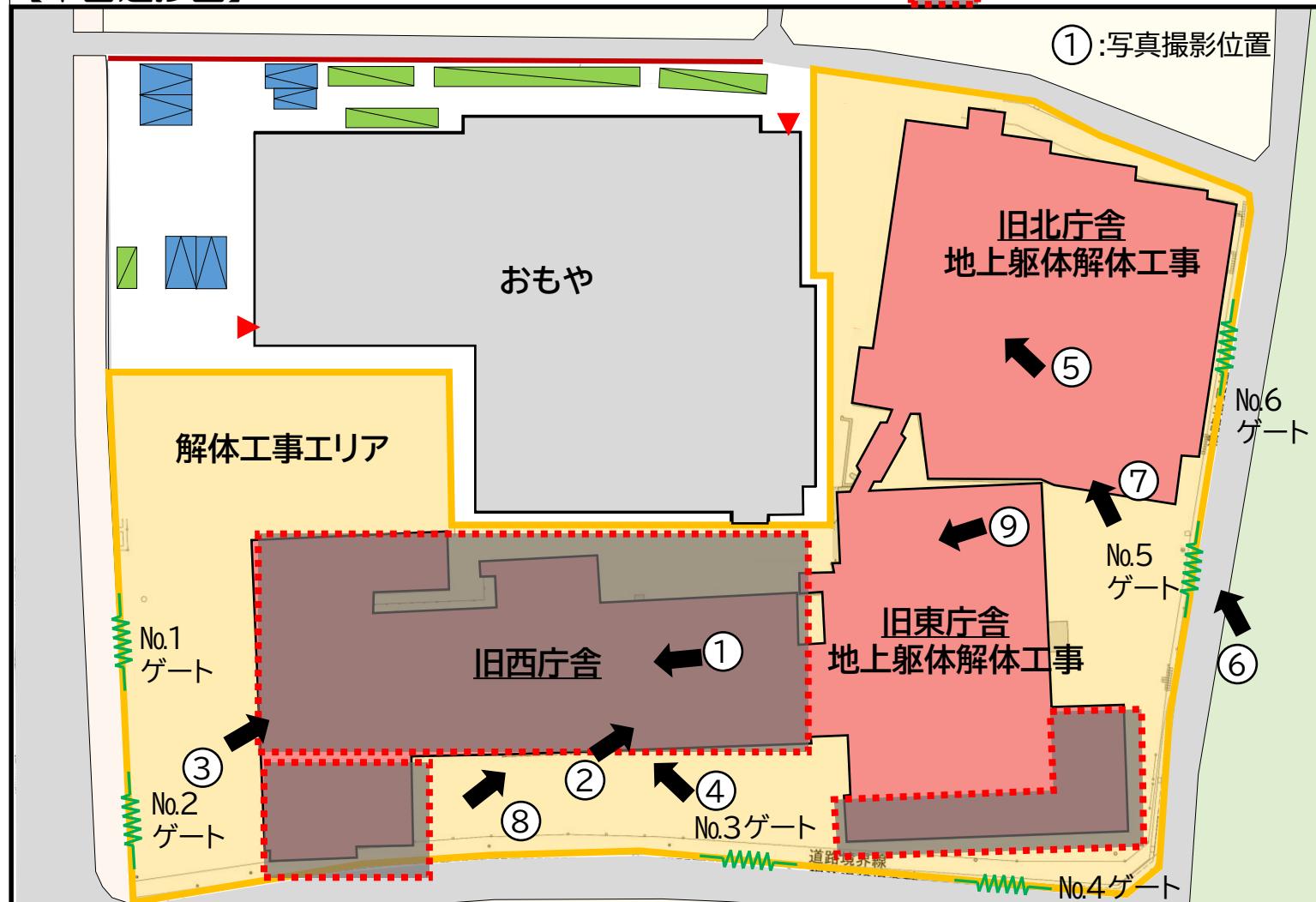


【工程表】



【平面進捗図】

 :地上躯体解体済み部分



●旧北庁舎解体状況:鉄骨鉄筋コンクリート造【地上5階 地下2階】

躯体の解体については、「階上解体」にて工事を進めていましたが、6月中旬からは、地上に重機を設置し、地上からの解体方法に切り替えて作業を進めています。現在は、1階を解体しています。

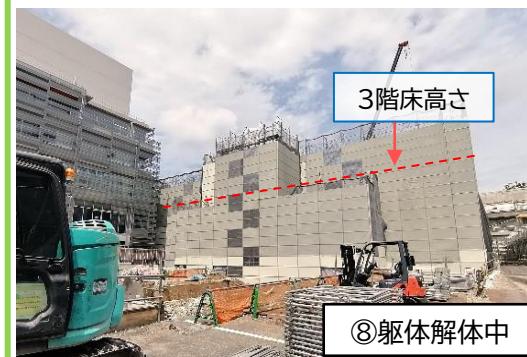
【階上解体】

建物の屋上に解体用重機を設置し、建物の上から解体する工法です。解体で出たガラを利用して下階に降りるスロープを作成し、解体を行いながら下階へ降りていきます。



●旧東庁舎解体状況:鉄骨鉄筋コンクリート造【地上8階 地下1階】

旧北庁舎同様、建物上部から解体を進める、「階上解体」にて工事を進めています。一定程度のフロアまで下りてきた段階で、地上からの解体方法に切り替えて作業を進めていきます。現在、3階を解体しています。



●発生材処分

現場から出る発生材(コンクリートガラ等)は各処分場にて処理されます。現場から搬出された解体材のコンクリートガラは、砕石・骨材等に再利用されています。



●旧西庁舎解体状況:鉄筋コンクリート造【地上3階 地下1階】

旧西庁舎については、地上部に解体用重機を設置し、解体を進めています。令和6年4月に地上躯体の解体が完了し、その後、地下の解体に着手しています。



●情報発信

工事用で設置している仮囲いの空きスペースを利用し、様々な市の関連事業等を掲示し、各事業の普及啓発に努めています。

